

静岡県

土地改良

No.

473

春号

2025.05



水土里ネット静岡

| 静岡県土地改良事業団体連合会 |

目次

■ 令和 6 年度 第 2 回 監事会	1
■ 令和 6 年度 第 3 回 理事会	1
■ 水土里ネット静岡 第 68 回 通常総会	2
■ 令和 6 年度 土地改良功労者表彰	4
■ 全国水土里ネット表彰式	6
■ 令和 6 年度 市町・土地改良区等代表者会議	7
■ 令和 6 年度 伊豆土地改良事業推進協議会研修会	9
特集① 組合員とのつながり強化！	
水土里ネット牧之原の DX 事例	10
特集② 未来につなぐ寺谷用水～400 年の歴史と地域の絆～	
寺谷用水シンポジウム	14
■ 未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 ― 表彰式	17
■ 第 10 回 静岡県 農村の魅力フォトコンテスト― 特選・準特選紹介	18
■ 令和 7 年度 新規職員紹介	20
■ 水土里ネット静岡 各種相談窓口のお知らせ	21
■ 行 事 予 定	21
■ 令和 7 年度 水土里ネット静岡 組織図	22



表紙写真

第 10 回 静岡県 農村の魅力フォトコンテスト
春の部「#しずおかむらたび春2024」入選作品

せんがまちの棚田



「美しく品格のある邑」
Web サイトへ飛びます

撮影者 @toshiboon_0206

撮影時期 2024 年 4 月

撮影場所 菊川市

美しく品格のある邑 千框(せんがまち)の棚田

窓や障子などの枠を指す「框(かまち)」。かつて上倉沢の地には 3,000 枚以上の田んぼが連なり、その広大な光景から「千框(せんがまち)の棚田」と呼ばれるようになりました。

農業を取り巻く状況の変化で、一時は消滅の危機を迎えましたが、地元の歴史ある日本の原風景を守るため、地元 NPO をはじめとする多様な主体が連携し、この美しい棚田を未来へと繋ぐ取り組みが進められています。

令和6年度 第2回 監事会



令和6年12月11日（水）、本会会議室において、「令和6年度 第2回 監事会」を開催しました。

今回は（1）「令和6年度中間監査について」、（2）「令和6年度中間監査の報告について」の全2議案について報告し、円滑かつ適正な運営を行うための確認・検討がなされました。

議案

議案第1号 令和6年度中間監査について

議案第2号 令和6年度中間監査の報告について

令和6年度 第3回 理事会



令和7年2月14日（金）、静岡市産学交流センター ペガサート（静岡市）において、「令和6年度 第3回 理事会」を開催しました。

伊東会長をはじめ、副会長2名、理事9名、総括監事1名、監事1名の出席をいただきました。

開会にあたり、伊東会長は「私たちが関わる農業農村整備は農業分野から見ると決して表に出る仕事ではないが、農業の成立には不可欠な事業だ。農業に携わらない人が増加する現代社会で、今一度、基盤整備や施設の維持管理の重要性を、法改正とともに宣伝していきたい。」とあいさつしました。

引き続き伊東会長を議長とし、「令和6年度中間監査（令和6年度上半期事業報告及び決算報告）結果について」をはじめとする全8議案が上程され、全て原案通り可決されました。

議案

議案第1号	令和6年度中間監査（令和6年度上半期事業報告及び決算報告）結果について
議案第2号	令和6年度収支予算補正について
議案第3号	令和7年度事業計画及び収支予算について
議案第4号	職員給料表の改定について
議案第5号	育児・介護休業等に関する規程の一部改定について
議案第6号	令和7年度顧問、参与の委嘱について
議案第7号	第68回通常総会招集について
議案第8号	第68回通常総会提出議案について

水土里ネット静岡 第68回 通常総会



水土里ネット静岡 伊東会長

令和7年3月19日（水）、ホテルグランヒルズ静岡において、「水土里ネット静岡第68回通常総会」並びに「土地改良功労者表彰」を開催しました。

開催にあたり、伊東会長は「基本法改正による土地改良区の体制強化支援が、現在構築されつつある。しかし、中小規模の土地改良区の事務や機械装置の技術的な知識・理解の脆弱性と、近年の物価高騰による財政難は、依然として深刻な課題だ。このような状況下、国や県・市

町村の手厚い支援を期待しつつも、土地改良区が地域の農業を持続させ、食料と生活の潤いを自信を持って提供できるよう、共に頑張りましょう。」と続け、参集した土地改良関係者を鼓舞しました。

続いて行われた「土地改良功労者表彰」では、本県の農業農村整備事業に対し円滑な推進に努められ、地域産業の振興、そして発展に多大なる貢献をされた個人17名の表彰を行いました。



土地改良功労者表彰



宮崎全国水土里ネット会長会議顧問



寺谷用水土地改良区 伊藤理事長

通常総会では、静岡県増井浩二副知事、静岡県議会の鳥澤由克副議長、農林水産省関東農政局の安東隆局長よりご祝辞をいただきました。

また、当日は急遽宮崎全国水土里ネット会長会議顧問が駆け付けてくださり国

税報告とともにご祝辞を頂戴しました。

その後、議長に任命された寺谷用水土地改良区の伊藤英明理事長による進行のもと、「令和6年度収支予算補正について」をはじめとする全6議案が上程され、全て原案通り可決されました。

議案

議案第1号	令和6年度収支予算補正について
議案第2号	令和7年度事業計画及び収支予算について
議案第3号	令和7年度賦課金の算出方法及び徴収方法について
議案第4号	役員報酬について
議案第5号	一時借入金について
議案第6号	余裕金の預入先について



令和6年度 土地改良功労者表彰



浮島土地改良区 高橋理事長

「水土里ネット静岡 第68回 通常総会」に併せ、「土地改良功労者表彰」を執り行いました。

受賞者を代表し、浮島土地改良区の高橋吉人理事長より感謝と御礼の言葉が述べられました。

富士山南東の愛鷹山麓に位置し、先人たちの苦労の上に築かれた浮島地域の土地改良の歴史と、現在進行しているほ場整備事業の計画が語られた後、「農業者減少も懸念される中、先人から受け継いだ農地と施設を次世代へ繋ぐ責務を胸に、今後も地域農業の発展に尽力していきます。」と、力強い謝辞をいただきました。



役員 の 部（12名）

（順 不 同）

高 橋 吉 人	浮島土地改良区	理事長
鈴 木 龍 一	浮島土地改良区	副理事長
伊 東 節 義	大井川土地改良区	理 事
村 松 達 雄	大井川土地改良区	理 事
海老名正和	大井川土地改良区	理 事
大 塚 辰 己	大井川土地改良区	総括監事
杉 本 芳 郎	大井川土地改良区	総 代
村 田 辰 男	大井川土地改良区	総 代
鈴木三喜夫	大井川土地改良区	総 代
曾 根 健 治	大井川土地改良区	総 代
森 下 孝 之	高松土地改良区	理事長
石 塚 健	村櫛土地改良区	理事長

職 員 の 部（5名）

（順 不 同）

大浦地明久	菊川市建設経済部農林課	課 長
松 下 優 子	寺谷用水土地改良区	主 任
高山喜美恵	村櫛土地改良区	
鈴 木 謙 吾	浜松土地改良区維持課	課長補佐
川 嶋 大 介	浜松土地改良区総務課	副主幹

所属及び役職は、令和6年12月末日時点



役員 の 部



職員の部 | 大浦地課長

全国水土里ネット表彰式



全国水土里ネット二階会長

令和7年3月26日(水)、シェーンバッハ・サボー（東京都）において、「全国水土里ネット表彰式」が執り行われました。この表彰式は、全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）が主催し、全国土地改良功労者等表彰、農業農村整備優良地区コンクール表彰を併せて行うものです。

第66回 全国土地改良功労者等表彰

本県からは、全国土地改良功労者等表彰に、個人3名が受賞の栄に浴されました。



米 倉 進	蒲原畑総土地改良区	理事長
太 田 正 昭	大井川土地改良区	総務課長
永 田 聡	大井川土地改良区	事業課長 兼 発電所管理事務所長

所属及び役職は、令和7年3月末日時点

令和6年度 市町・土地改良区等代表者会議



令和7年1月31日(金)、静岡県男女共同参画センターあざれあにおいて、『令和6年度市町・土地改良区等代表者会議』を開催しました。

本会議は、農業農村整備事業の施策や農業・農村における様々な取組み、農業情勢などを研修することを目的に、毎年開催しています。

特別講演

生産から流通までの 世界のスタンダードを創る

株式会社 Happy Quality (ハッピークオリティ)
代表取締役 宮地 誠氏

市場の衰退と生産者の苦悩を背景に、マーケットインとテクノロジーで農業の意識改革を目指す HappyQuality。

収益性を高める、需要に基づいた栽培や、AIを活用した灌漑システムと品質管理対策など、農業経営と技術導入における革新的なアプローチについて説明がなされた。



特別講演 企業紹介

株式会社 Happy Quality (創業：2015年)

株式会社 Happy Quality は、「農業界の生産から流通までのインフラサービスカンパニー」を目指し、一気通貫した農業経営支援サービスを展開している。

同社の事業は、テクノロジーを活用した研究開発を基盤とし、農業・青果物流業界

の变革と日本農業の活性化に貢献することが使命だ。

主要な事業の一つに、「Happy 式マーケットイン農業経営モデル」がある。主に新規就農者や事業会社を対象に、栽培技術の未熟さをテクノロジーで補い、市場のニーズに基づいた生産を支援することで、農業経営の安定化を図っている。

情報提供
①

土地改良法の見直しと 水土里ビジョンについて

関東農政局 農村振興部 土地改良管理課
課長補佐 細貝 輝 氏

土地改良法の見直しと、人口減少下における農業インフラ保全のための水土里ビジョンの必要性と策定支援について解説。土地改良区に対し、ビジョンの策定検討と女性理事の登用を含む人材確保への協力が仰がれた。



情報提供
②

土地改良区等に対する検査及び指導

静岡県 経済産業部 農地局 農地整備課
課 長 太田 千博 氏

土地改良区等の適正かつ健全な業務執行確保のため、組織運営・事業・会計経理の検査概要、国・県の実施状況、改善指導の指摘事例が説明され、法令遵守と健全な運営に向けた理解と協力が求められた。



情報提供
③

相続登記の義務化について

静岡地方法務局 不動産登記部門
統括登記官 野崎 貴義 氏

深刻な所有者不明土地問題解決のために義務化された相続登記の背景、申請義務・期限・過料、法施行前の適用を解説。制度の適切な周知と理解を求めるとともに、早期の相続登記の実施への協力が呼びかけられた。



情報提供
④

農業農村整備事業等に係る情勢 (国政報告)

全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎 雅夫 氏

土地改良事業予算の増額と多面的機能支払いの拡充という最新情報を提供。①「食料安全保障の強化と環境に調和した食料システムの確立に向けた基本法改正」、②「土地改良法改正による農業生産基盤の整備と保全の両面からの推進について」の説明がなされた。



令和6年度 伊豆土地改良事業推進協議会研修会



令和7年2月12日(水)、南伊豆町内において、「伊豆土地改良事業推進協議会研修会」を開催しました。

本研修会は、賀茂農林事務所の管内における連合会会員を対象に、毎年企画されているものです。

令和6年度は、近年著しい進化を遂げるドローンの活用について、業務での運用に必要な基礎知識の習得を目的に実施しました。

講師は本会東部事業所の前田修所長が担当し、座学・デモフライト・操縦体験の3部門に分けて講義を行いました。



プログラム

01 座学 | 会場：南伊豆町役場

ドローンの仕組み、航空法、飛行ルール活用事例紹介等

02 デモフライト | 屋外

大型農業用ドローン、汎用ドローンを使用した展示飛行の見学

03 操縦体験 | 屋外

汎用ドローンを使用した操縦体験の実施



組合員とのつながり強化！

水土里ネット牧之原のDX事例

DX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉、最近よく耳にしますよね。

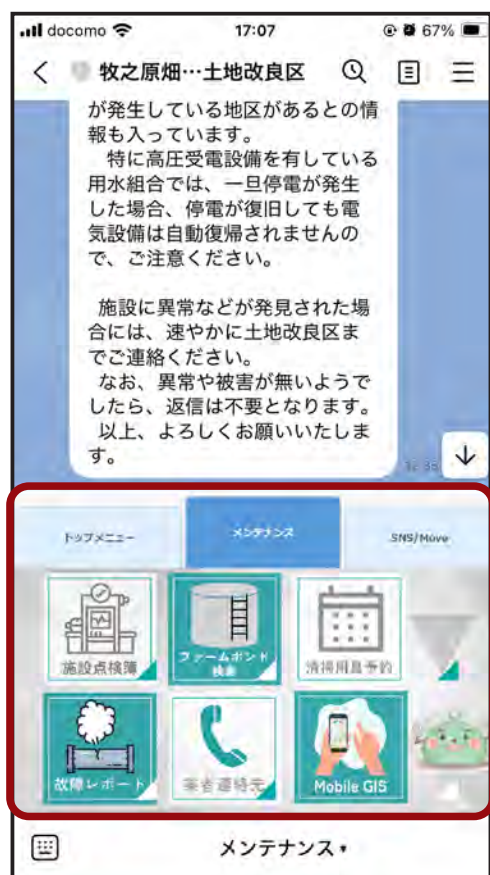
水土里ネット牧之原（牧之原畑地総合整備土地改良区）では、「業務のデジタル化長期計画」を策定し、令和4年から本格的なDX推進に取り組んでいます。その結果、業務の効率化やコスト削減、組合員とのコミュニケーション強化などに成功しました。

数ある取り組みの中で、今回は **LINE 公式アカウントの活用** にスポットをあてて、水土里ネット牧之原のDX推進事例をご紹介します。

ご協力いただきました

岡本 参事、原崎管理課長補佐、竹田総務課主事

【取材日】
2024年10月



目標は“農家にやさしい土地改良区運営” 事務局と組合員の双方が取り組みやすい 環境を整備

水土里ネット牧之原では、LINE の公式アカウントに特化した、自動メッセージ配信ツール「**L Message**」（通称エルメ）を導入しています。

用水組合（215 組合）へアンケート調査※を実施したところ、回答者の77%が**LINE**を利用していることが判明。時代に合わせ、今まで行っていたメールでの情報発信から切り替えました。

公式アカウントの役割は、メッセージのやり取りだけではなく、

メニューに施設の管理ツールを盛り込み、より簡単に点検ができるようになったほか、その場での報告がしやすくなったことで、故障への早期対応が可能となりました。

直感的に扱いやすいメニュー画面。「水土里ネット牧之原と組合員を繋ぐ窓口になるように」と岡本参事が設計したデザインを元に、カスタムされている。

※ アンケートは、役員・総代・組合長（工区長）、組合役員を対象に実施。全体の84%から回答を得た。

情報伝達速度の向上

お知らせの発送は意外と**手順**が多い

- | | |
|-----------|------------|
| 1 文章作成 | 6 書類と宛名の照合 |
| 2 発送先確認 | 7 封入作業 |
| 3 文章印刷 | 8 切手貼り |
| 4 宛名ラベル印刷 | 9 郵便局へ持ち込み |
| 5 宛名ラベル貼り | 10 発送 |

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 文章作成 | 6 書類と宛名の照合 |
| 2 発送先確認 | 7 封入作業 |
| 3 文章印刷 | 8 切手貼り |
| 4 宛名ラベル印刷 | 9 郵便局へ持ち込み |
| 5 宛名ラベル貼り | 10 発送(送信) |

 **LINE**で送ることで作業時間や郵送料金等のコストが大幅に削減されました

登録された方が複数の役職を兼務されている場合も

● 役員 ● 組合長
● 総代 ● 〇〇区

登録者の属性を
● タグで管理!

重複せずにメッセージを送れるのがポイントです

LINE公式アカウントから
会議等の出欠登録をして
いただくこともできます

出欠の集計が
やりやすい!

同じものが沢山
くるのやだなあ!

コレが無い
登録者
LINE!
LINE!
LINE!

施設点検の効率化+α

施設管理責任者の方に
月に一度の施設点検を
お願いしています

点検時には
施設点検簿を
使うのですが...

管理責任者の代替わりの
際に施設点検簿の引継ぎ
漏れがあったり

もらっていない!

どうなってる?

管理責任者以外の方は
施設の状態を知らない
ということもありました

報告対象の
情報選択

報告対象月

施設点検報告フォーム

選択してください

報告 1月

報告 2月

対象地区の工区・用水組合名

選択してください

報告 2-1 金谷4 兼子 沢崎用水組合

報告 4月

報告 2-2 金谷5 第五宮田 堀崎用水組合

対象

1: 点検項目 - フェンス

※ フェンスや有刺鉄線に異常や破損や
損壊はないか

※ 点検項目: 点検項目

※ 点検項目: 点検項目

入力開始!

今はスマホがあれば
施設点検が可能に!

LINE公式アカウントに登録
した方はどなたでも点検が
できるようになるので

月ごとに当番を決めて
点検してくださっている
組合もあります

入院すること
になりました...

代わりに
やるよ!

急な事態にも対応できます

そもそも

IT化とDXは何が違うの?

IT化 は "手段"

DX は "目的"

"どちらが重要か"ではなく
両方をバランスよく進める
ことが大切。

■ IT化 これまで手作業で行っていた業務をITツールで置き換え・効率化すること。 **部分的な改善**

例: 紙の書類をデータ化する、手計算をExcelで行うなど

■ DX ITの力を使ってビジネスモデルや組織全体を変革し、新たな価値を生み出すこと。 **根本的な改善**

例: アプリで顧客に最適な情報を提供する など

モバイルGISの活用



導入の際に整備したデータベース

- 役員名簿、総代名簿、用水組合長名簿
- 施設点検項目
- 清掃用具貸出機材一覧
- 業者連絡先一覧
- モバイルGISの管路等の施設データは既存のGISデータベースを使用

※ その他は公式Webサイト内で構築

取り組みのきっかけ

DX推進の背景には、水土里ネット牧之原を取巻く厳しい環境の変化がありました。

近年、農家組合員の減少に加えて、役員の成り手不足も重なり、次第に**現役組合員へ管理作業や組合運営の負担が集中**していきました。

また事務局側も、国営・県営施設の老朽化に伴う整備補修対応や、世代交代した組合員に対する理解促進など、求められる役割が増大。**効率的な業務運営や管理コストの縮減**が一刻を争う課題となっています。

LINE公式アカウントの効果

現在、215組合のうち約8割の組合員が、公式アカウントに登録※しています。

登録者の中心は60代、70代ですが、若手農家など幅広い世代の方々が活用しています。

※ 登録されていない方や、紙での書類配布を希望される方へは郵送で対応している。

1 組合員との連携強化

メッセージは一斉送信だけでなく、個別でのやり取りもできるため、申請書等の必要な書類のデータをLINEで送ることも可能です。

農繁期は事務局の窓口受付時間内に電話をかけられない方が多かったのですが、公式アカウント開設後は、ご自身の都合の良い時間にLINEで連絡ができるため、返信をいただける方が増えました。

また、災害発生時には、役員・総代・用水組合役員への迅速な情報伝達と、円滑な連携を行うためのライフラインとしても重要な役割を担っています。

2 保守の早期対応の実現

月に一度の施設点検に使う『施設点検簿』は、現在、紙のフォルダと公式アカウントのいず



れかを選択できます。

これまでは、毎年5月に全地区で開催される会議で215組合に配布したフォルダを回収し、確認とデータ入力作業を行っていました。

215組合×12ヶ月分の情報を確認する労力がかかっていたことに加えて、数か月前から発生していた不具合が、このタイミングで発覚することもありました。

公式アカウントでの点検情報は、このデータ入力の作業コストと、不具合を発見するまでのタイムラグ問題を同時に解決しました。

インタビュー・ノート

水土里ネット牧之原の皆さんからお話を伺い、公式アカウントは、施設の定期点検効率化に役立つだけでなく、後任への引継ぎ時に「これさえあれば大丈夫」と安心できるツールとしても活用できると感じました。

未知のことに対しての不安は誰しもが抱くもの。ただ厄介なのは、この不安が行動力の低下に繋がる可能性があることです。

この不安を解消するのが「問い合わせ」という行動ですが、苦手意識を持っている方は

意外と多いのではないのでしょうか？

- ・ 誰に聞いたらいいんだろう
- ・ 言葉でなんて伝えたらいいんだろう
- ・ この時間に連絡しても大丈夫？ … 等

「問い合わせ」と一言でいっても、実は多くの心理的ハードルが潜んでいるんです。

水土里ネット牧之原の公式アカウントを拝見して感動したのは、このハードルを下げる工夫が随所に施されている点でした。

今回はLINE公式アカウントにスポットをあてて紹介しましたが、DXによる事務局と組合員が協力して施設管理に取り組める環境づくりのお話は、持続可能な農業農村整備について考えさせられる貴重な時間になりました。

インタビューの中で岡本参事がおっしゃっていた、「DXを取り入れることでできた空き時間使って、施設の老朽化に対する工事発注などの仕事に力を入れたい。これからの改良区の維持管理の中でも、勝負になってくると思う。」という言葉が、強く印象に残っています。

今後は更なるデータ連携強化や機能の拡張も構想中とのこと。水土里ネット牧之原のこれからの取り組みにも、目が離せません！

水土里ネット牧之原 | 牧之原畑地総合整備土地改良区

〒427-0047 静岡県 島田市 中溝町 1726-4

Tel 0547-36-8000 Fax 0547-36-0830





寺谷用水 シンポジウム

未来につなぐ寺谷用水 ～ 400 年の歴史と地域の絆 ～

令和 7 年 1 月 25 日 (土)、アミューズ豊田ゆやホール (磐田市) において、磐田市寺谷用水地域活性化協議会※ 主催の「寺谷用水シンポジウム」が開催されました。

オープニングでは、磐田市の草地博昭市長と、国際かんがい排水委員会 (ICID) 日本国内委員会の渡邊紹裕委員長が挨拶に立ち、本シンポジウムが、400 年以上にわたり磐田市の豊かな田園風景と暮らしを育んできた寺谷用水の価値を再認識し、今後の保全・活用の可能性を考える機会となることへの期待が述べられました。

第一部では基調講演が行われました。この講演では、寺谷用水の世界かんがい施設遺産登録申請に深く携わったお二人、静岡県農地局の岩崎康正局長と、静岡県立農林環境専門職大学の中山正典客員教授が登壇されました。

第二部のパネルディスカッションでは、地域の宝である寺谷用水と農業の現状と、持続可能な未来に向けた課題や可能性について 5 名の有識者から意見が述べられ、和やかな雰囲気ながらも熱気のこもった意見交換が展開されました。

※ 磐田市寺谷用水地域活性化協議会

令和 4 年に「寺谷用水」が世界かんがい施設遺産に登録されたことを契機に設立された。磐田市・寺谷用水土地改良区・静岡県が連携し、寺谷用水の価値を広く普及・啓発する取り組みを進めている。

第一部 基調講演 ※ 敬称略

世界かんがい施設遺産の概要 ・ 県内施設紹介

静岡県農地局
局長 岩崎 康正

岩崎農地局長は、世界かんがい施設遺産の定義と、静岡県内にある寺谷用水以外の5施設（深良用水・源兵衛川・香貫用水・北山用水・本宿用水）について解説。

各施設の特徴と現在の保全活動の説明に加え、用水を核とした地域コミュニティの取り組み事例を紹介しました。

寺谷用水の歴史と役割



静岡県立農林環境専門職大学
客員教授 中山 正典

中山先生は、歴史学と民俗学の視点から寺谷用水の多面的機能を考察。水を管理する人々に受け継がれる水利慣行や文化的景観を例に示し、その意義を強調しました。

さらに全国の農業用水との比較を通じ、寺谷用水の技術的・歴史的価値を明らかにしました。

第二部 パネルディスカッション

【テーマ】 未来につなぐ寺谷用水 ～ 400年の歴史と地域の絆 ～



【司会】 長谷川 玲子 — フリーアナウンサー

【パネリスト】

草地 博昭 — 磐田市長

佐藤 欣久 — 中遠農林事務所長

大箸 千賀子 — 磐田市農業委員会 会長（本会理事）

伊藤 英明 — 寺谷用水土地改良区 理事長

中山 正典 — 静岡県立農林環境専門職大学 客員教授

※ 氏名の並びは写真左から記載 ※ 所属及び役職は、令和7年1月末日時点



ディスカッションテーマ

- それぞれの立場から見た寺谷用水の価値
- 寺谷用水の課題とその展望
- 今後の取り組みへの具体的な提案

静岡県で2番目の米どころである磐田市。県下でも珍しく、① 農業教育（磐田農業高校・静岡県立農林環境専門職大学）、② 農業実践（中遠農林事務所・磐田市農林水産課）、③ 農業研究（農林技術研究所）の場が揃ってお

り、一体となって農業の在り方を模索できる風土がある地域です。

シンポジウムでは、磐田市の風土と寺谷用水の管理運営状況が共有されたのち、ディスカッションテーマをもとに議論が展開されました。「農業用水の維持管理と地域コミュニティの絆」「農業の後継者問題と若手農業者の育成」「子どもたちへの農業教育機会の創出」など、地域農業を未来へつなげて行くための意見が交わされました。

関連展示



会場ロビーでは、世界かんがい施設遺産の関連資料や、寺谷用水土地改良区が取り組む「水源涵養林育成」事業等についてのパネル展示が行われました。

未来へつなごう！ ふるさとの水土里^{みどり} 子ども絵画展



昨年度開催された「未来へつなごう！ふるさとの水土里（みどり）子ども絵画展2024」には、全国から3,068点もの作品応募があり、盛況に開催することができました。

それらの作品の中から厳正なる審査の結果、静岡県内からは水土里ネット静岡会長賞1作品、入選2作品、佳作10作品が選ばれました。

令和7年2月17日（月）に、静岡市立長田南小学校において表彰式を開催しました。紙いっぱいに、気持ちいい風と元気な声が響き渡る雰囲気を感じさせる作品は、自ら

泥の中に入って田植えをした経験を基にしたと伺い、体験が生き生きした作品の種となっていることを改めて感じました。

今回本会に応募していただいた他の作品も、子どもたちが自然とふれあい、子どもならではの視点や表現力で描かれていて、エネルギーに満ち溢れた力作が多くみられました。



2025年も 開催決定！

子ども絵画展の詳細については、
全国水土里ネット および **本会**
ホームページをご確認ください。



第10回 静岡県 農村の魅力 フォトコンテスト

#しずおかむらたび 2024

「特選・準特選」作品が決定！

記念すべき10周年を迎えた「静岡県農村の魅力フォトコンテスト」に、2024年度は合計1,131点の力作が集まりました。

本コンテストでは、四季（春・夏・秋・冬）ごとに会期とテーマが設定され、各回15点（合計60点）の作品が選出されています。今回は、入選作品の中から更に厳選された「特選・準特選」作品※をご紹介します。



特
選

泥んこプロレス

撮影者

@senganmon

撮影場所

松崎町岩科



日本酒米の田植え作業を盛り上げる為のイベントだそうです。背景には青々とした田んぼが広がり長閑ですが、ビニール紐のリンクの中で赤鬼がやられているところや泥をかぶらないようにカバーしている審判員もリアリティーがあってユーモラスな作品です。（講評：沼田審査委員長）

※ 今回の特選・準特選の選考対象は、しずおかむらたび冬 2023・春 2024・夏 2024・秋 2024 の入選作品です。



茶刈り

静岡県土地改良事業団体連合会長賞

撮影者

@gongon1963

撮影場所

富士市 岩本山
(岩本山とかりがね堤を守る邑)



富士山の麓の雄大な茶畑での茶刈作業。繊細な新芽と力強い茶刈り機で静と動を、また刈取り前後の色合いで茶園の広大さが感じられます。



秋色の絶景

ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合会賞

撮影者

@otnky321

撮影場所

富士宮市半野
(天子ヶ岳の里)



富士山をバックに、夕焼け雲のダイナミックな空の色と稲穂の黄金色のコントラストが郷愁を感じさせる一枚です。

令和7年度 新規採用職員紹介



か ね こ ひ じ り
兼 子 聖 所属 | 西部事業所

水土里ネット静岡の職員としての抱負と自己PR

4月から新規採用職員として西部事務所に配属になりました、
兼子聖です。

現在は、先輩や上司の方々からの指導の下 ^{ヴィーナス} V-nas (2次元汎用 CAD) を使用した図面の作成を行っています。

高校を卒業してから日が浅く、社会人としての心得やマナーについてわからないことが多々ありますが、先輩方の指導のもと、少しずつ覚えていきたいと考えています。ご迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、よろしくお願いします。

趣味・特技 など

趣味はハンドボールをすることです。今は忙しくやる機会がありませんが、これからまた再開したいと考えています。



第11回 静岡県 農村の魅力 フォトコンテスト

#しずおかむらたび春2025

ファインダー 越しの 農村の世界

春2025
テーマ

応募期間 2025 5.1 木曜 >>> 6.30 月曜

ただ今 春の部 開催中！

応募方法とコンテストの詳細は、
「むらサポ」Web サイトを Check ▶





お困りごとをお聞かせください



水土里ネット静岡各種相談窓口

水土里ネット静岡では、会員のみなさんの困りごとを質問・相談できる窓口を設けています。
どんな内容でもお気軽にご相談ください。

01 土地改良法律相談窓口

土地所有者の所在不明や、相続人の不明など、土地改良区受益地内や、ほ場整備事業内における「財産管理」に関する問題や、近年増加傾向にある「賦課金の滞納処分」などに関するご相談を承ります。
内容に応じ、本会の顧問弁護士に相談を仲介いたします。



02 会計相談窓口

土地改良法の改正により令和4年度から貸借対照表の作成が義務化されました。専門家である税理士および会計指導員による「会計業務」などに関するご相談を承ります。

03 その他

- 土地改良区の賦課金について
- 定款・規約等について
- 土地改良区運営について
- 新規事業および事業実施について
- 土地改良施設の改修や補修について
- 過去の土地改良事業について

お問い合わせ

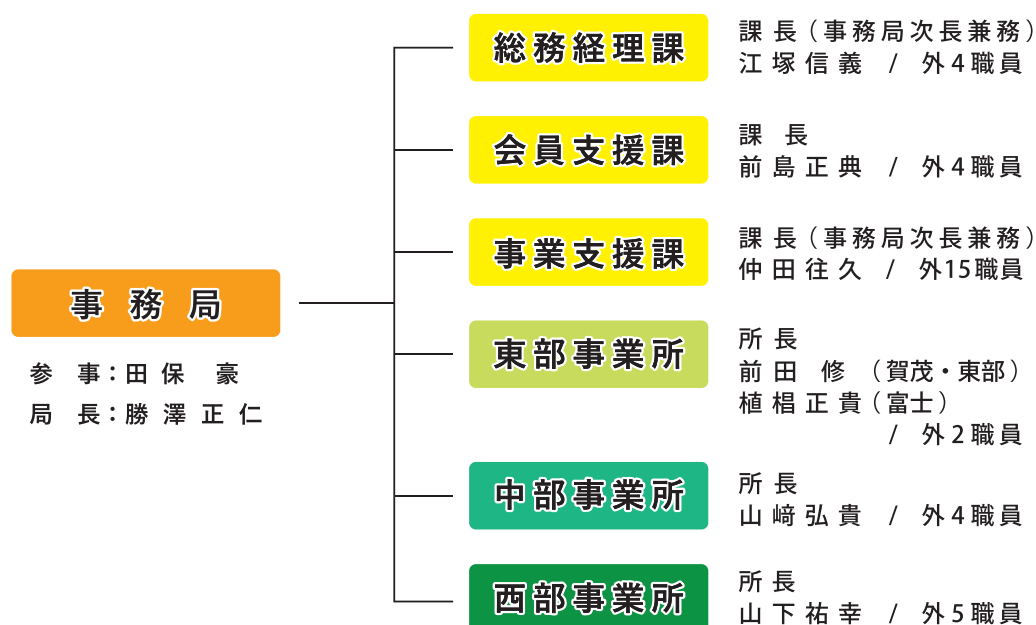
水土里ネット静岡 会員支援課

TEL : 054-255-5151 / FAX : 054-221-3581 / E-mail : kaiin@sizdoren.jp

【行事予定】

日	付	行事内容	場所
6月13日	(金)	令和7年度第1回監事会	本会会議室
6月18日	(水)	農業農村整備の集い	砂防会館 シェンバッハ・サボー (東京都)
6月25日	(水)	令和7年度第1回理事会	静岡市産学交流センター ペガサート
7月25日	(金)	令和7年度臨時総会 ※第1回理事会にて決定	静岡県男女共同参画センター あざれあ (静岡市)

令和7年度 水土里ネット静岡 組織図



※ 嘱託職員含む(職員数)



水土里ネット静岡 (静岡県土地改良事業団体連合会)

■ 本 部 (事務局、総務経理課、会員支援課、事業支援課)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
TEL : (054) 255-5151 / FAX : (054) 255-3581
E-mail : 総務経理課 soumu@sizdoren.jp
会員支援課 kaiin@sizdoren.jp
事業支援課 (事業・水土里) jigyo@sizdoren.jp
(換地) kanchi@sizdoren.jp

■ 東部事業所

〒410-0055 沼津市高島本町1-3
TEL : (055) 920-2269 / FAX : (055) 920-2192
E-mail : toubu@sizdoren.jp

■ 中部事業所

〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20
TEL : (054) 286-9273 / FAX : (054) 286-9274
E-mail : shisetsu@sizdoren.jp

■ 西部事業所

〒438-0086 磐田市見付3599-4
TEL : (0538) 37-2316 / FAX : (0538) 37-2403
E-mail : seibu@sizdoren.jp